

史跡 是川石器時代遺跡

是川石器時代遺跡とは、青森県南部の八戸にある3つの隣接する遺跡の総称です。この遺跡は、中居遺跡（紀元前1000年～紀元前300年）、堀田遺跡（紀元前3000年～紀元前2000年）、一王寺遺跡（紀元前4000年～紀元前2000年）から構成されており、新井田川の近くの台地上に位置しています。これらの遺跡の調査によって、墓穴、貯蔵穴、土器、竪穴建物跡の証拠および大量の漆器が発掘されました。出土品は、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の企画展で展示されています。これらの企画展では、北日本の先史社会の暮らしと工芸が紹介されています。

中居遺跡

中居遺跡には、縄文時代（紀元前13,000年～紀元前400年）の晩期に、700年間にわたって人が暮らしていました。この遺跡の中心には高台があり、日時計のような配石が発見されています。この場所は、祭祀の場として機能していたと考えられます。この高台の東西では、多くの墓穴が発見されており、高台の南北には低湿地があります。この湿地からは、埋まった石器、木器、土器、漆器、さらにクルミの殻やクリの皮が見つかっています。高台の北端では、竪穴建物跡の証拠が発見されています。

中居遺跡の植物と暮らし

この遺跡について、考古学者たちは、土壌の花粉の分析、木器や漆器の調査、また保存されていた種子の発見に基づく研究を行いました。その結果、この集落に生育していた植物が明らかになり、それらがどう使われていたのかが解明されました。クルミの木やトチノキの木が、食料を提供し、竪穴建物や木工の材料になっていました。漆の木をたたいて樹液を取り、それを精製して漆が作られていました。柔軟性のあるスピンドルツリーの木材が、弓のづくりの材料になっていました。集落の住人が、これらの植物が利用できるやり方で、この遺跡周辺の土地を管理していたということを示唆する証拠があります。

中居遺跡の土器と漆器

中居遺跡の発掘により、精巧な装飾の土器や複雑な漆器が多く出土しました。これらの製作物は、人々が土器と漆器の進んだ技術に通じていたことを示すものであり、デザインのセンスが高度に発達していたことを伝えるものです。「亀ヶ岡式」と呼ばれ、北部日本の縄文時代最後の美的特徴となっています。「亀ヶ岡式」という言葉は、青森県北部の亀ヶ岡石器時代遺跡で発見された土器に由来します。東京国立博物館、大英博物館、メトロポリタン美術館など、世界の代表的な博物館・美術館の多くが、亀ヶ岡式土器を所蔵しています。

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館は、主として、中居遺跡と、近隣の風張遺跡から出土した土器（紀元前2,000～1,000年）を展示しています。風張遺跡は、新井田川の対岸にあります。所蔵品に

は、数百点の重要文化財と国宝に指定されている合掌土偶が含まれています。この土偶は座った姿をしています。

堀田遺跡

堀田遺跡は、中居遺跡より 2,000 年ほど前の遺跡です。この遺跡で、考古学者たちは、土器、木の実を貯蔵していたと考えられるいくつかの穴および竪穴建物跡の証拠を発掘してきました。ここで発見された土器の多くは口が広く、底が先細になっています。これらの土器には装飾が多く、通常、大胆な模様があります。しかし、この遺跡からはるかに後の中居遺跡の土器のような仕上りの水準や複雑さは見られません。この遺跡から出土した土器のいくつかは、八戸市博物館に展示されています。

一王寺遺跡

一王寺遺跡は、3 つの遺跡の中で最も古く、最も大きな遺跡です。この遺跡は、中居遺跡より 3,000 年ほど前のものです。考古学者たちは、この遺跡から、竪穴建物跡の証拠と大量の土器を発見しています。最も厚いところで 1.5m に達していた土器片の層が、地面に埋められた状態で発見されています。これらの層には、魚と動物の骨、また骨や角から作られた釣り針・櫛などの道具も含まれていました。この遺跡から出土した土器は、長い円筒形をしています。これらの土器には縄の文様があるものの、ほとんどの場合、堀田遺跡や中居遺跡から出土する土器よりも装飾は少なくなっています。八戸市博物館は、一王寺遺跡からの出土品を多く展示しています。

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

亀ヶ岡式土器の優れた例の多くは、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館に展示されています。出土品には、土器、土偶、ビーズ、装飾品および漆を塗った弓や籠といった道具などがあります。このセンターでは、先史時代の日本での暮らしを紹介するビデオを上映しています。また、工芸体験ができ、お土産を販売するミュージアムショップもあります。情報は英語でも提供されています。また、「ポケット学芸員」というアプリケーションを通して、多言語での追加情報も利用できます。このアプリケーションは、現地でダウンロードできます。

関連遺跡

「北海道・北東北の縄文遺跡群」のうち、亀ヶ岡石器時代遺跡 [\[リンク\]](#)、小牧野遺跡 [\[リンク\]](#)、三内丸山遺跡 [\[リンク\]](#) およびニツ森貝塚[\[リンク\]](#)を含む複数の遺跡は青森県に位置しています。岩手県内の近くでは、是川石器時代遺跡と併せて御所野遺跡 [\[リンク\]](#) にも立ち寄ると良いでしょう。